

## 研究課題名：体外受精における卵胞液中のサイトカインの網羅的解析

当院では、川崎医科大学産婦人科学 1 教室と共同で卵子の質を評価する有効な方法を見出すための研究を行います。患者の皆様の体外受精胚移植治療後に廃棄する卵胞液と患者の皆様の情報を診療録から使わせて頂き、研究を行いますので新たなご負担や侵襲を伴うものではありません。また謝礼はございません。以下に詳細を記載いたしますのでご協力をお願いしたいと思います。研究に関してご質問のある方や研究に情報・試料が使用されることを希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。また、研究に同意頂けない場合でも患者様への不利益は一切ありませんのでご安心ください。

研究期間は 2019 年 4 月 24 日から 2023 年 3 月 31 日までです。

本研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得ています。

### 1. 研究の対象

川崎医科大学・同附属病院倫理委員会承認後当院で体外受精を施行される方

### 2. 研究目的・方法

体外受精・胚移植は不妊治療として一般的なものとなっていますが、体外受精・胚移植における 1 周期あたりの妊娠率は依然として採卵あたり 30%以下であり、その背景として卵子の質を見極めることが困難であることが一因であると考えられています。そこで本研究では卵胞液等の中の様々なサイトカインと呼ばれる微量物質の解析を行って卵子の質の評価に繋がるような物質を見出すことを目的としています。この研究によって将来、体外受精・胚移植における卵子の質を卵胞液から見出すことが出来るようになると体外受精・胚移植の成績向上に繋がる可能性があると考えています。

研究方法は、体外受精の際に廃棄する血液と卵胞液中のサイトカイン濃度等を網羅的に測定して受精率・着床率等の臨床成績と照らし合わせて卵子の質と関連する物質を見出すことにあります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報；病歴、年齢、身長、体重、妊娠歴、既往歴、家族歴、治療歴、採卵時それ以降の経過、妊娠経過

### 資料 3

試料；卵胞液（採卵時の残液）、血液（採卵時周辺で行う採血での残血）  
上記、情報及び試料は個人を特定できないよう対応表により匿名化し、川崎医科大学へ提供いたします。研究成果は論文や学会等で発表いたします。情報および試料は論文等の発表から5年後に破棄致します。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がある方、情報及び試料が研究に使用されることを希望されない方は、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、研究に同意頂けない場合でも患者様への不利益は一切ありませんのでご安心ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先；

厚仁病院産婦人科生殖医療部門；Tel:0877-85-5353

住所：香川県丸亀市通町133

厚仁病院理事長：松山 毅彦

#### 〈共同研究機関〉

研究責任者：川崎医科大学 産婦人科学1 下屋 浩一郎

#### 5. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究は研究責任者の川崎医科大学教員研究費を用いて行う研究であり、利益相反状態はありません。